

日常的な安全指導における 一声(ひとこえ)事例

【安全教育の目標】

日常生活全般における安全確保のために必要な事項を実践的に理解し、自他の生命尊重を基盤として、生涯を通じて安全な生活を送る基礎を培うとともに、進んで安全で安心な社会づくりに参加し貢献できるような資質・能力を次のとおり育成することを旨とする。

安全教育で
身に付ける力

危険を予測し回避する能力と、
他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成

生活
安全

交通
安全

災害
安全

安全教育の3領域

【安全教育の推進に向けて】

このシートは「安全教育プログラム（第17集）」（令和7年3月東京都教育委員会）の「必ず指導する基本的事項」に基づき、指導の際に参考となる「一声」をまとめたものです。安全教育の3領域「生活安全」、「交通安全」及び「災害安全」について掲載しています。

近年全国各地で発生している風水害や、近い将来起こりうる首都直下地震等の自然災害の状況、交通事故、犯罪等の社会的な情勢の変化など新たな課題も顕在化している状況があります。幼児・児童・生徒の安全対応能力を一層高められるよう、上記に示す3領域の安全について日頃から意識し、安全教育に取り組む必要があります。

このシートは、短い時間で確実に指導を実施する際に活用していただくことをねらいとしています。朝の会や帰りの会、避難訓練等の短時間での取組において、「一声」指導を実施し、幼児・児童・生徒の危険を予測し回避する能力と、他者や社会の安全に貢献できる資質や能力の育成を積極的かつ継続的に推進して下さるようお願いいたします。

令和7年3月

 東京都教育委員会

一声(ひとこえ)事例チェックシート

【I 生活安全】

Check

登下校時の安全	1-① 夕方、暗くなった時間は、できるだけ友人と下校しましょう。	
	1-② 防犯アプリを準備しておくことが安心につながります。	
	1-③ 街灯の少ない道や人通りの少ない道は避けるようにしましょう。	
	1-④ ラッシュ時の駅の階段等での盗撮や、電車内等での痴漢被害から身を守るためには、どうしたらよいでしょうか。	
校内での安全	2-① 普段からの整理整頓の習慣が、事故防止につながります。	
	2-② ルール違反をすることと安全とは、どのような関係があると思いますか。	
	2-④ 校舎内外の施設や設備を使用する際には、危険な箇所がないか確認しましょう。	
	2-⑤ 慌てずに、放送の指示に従って行動しましょう。	
	2-⑥ 不審者が侵入した際は、教室などに入り、ドアの鍵を閉め机などを置いて、部屋に入っていないようにしましょう。	
	2-⑦ 身を守るための学習です。家族や周りの知り合いに説明すると思って参加しましょう。	
	2-⑦ 身を守るための学習です。家族や周りの知り合いに説明すると思って参加しましょう。	
家庭生活での安全	3-① 帰宅する際には、周囲の様子を確かめる習慣を身に付けましょう。	
	3-③ エレベーター内での危険を回避するためにどんな方法が考えられますか。	
	3-④ 普段から、危険だと思う場所を見付けておくことが大切です。	
	3-⑤ 個人情報を聞こうとする人から情報を守る時の対処方法を考えましょう。	
	3-⑤ 個人情報を聞こうとする人から情報を守る時の対処方法を考えましょう。	
地域や社会生活での安全	4-① 出掛けるときは、どこに行くか、何時に帰ってくるか、家族に伝えましょう。	
	4-② 普段から、人通りがある街路灯のある道を通りましょう。	
	4-③ 『いかのおすし』の意味を確認しましょう。正しい判断をするためには、状況の確認が大切です。	
	4-⑤ やむを得ず外出する場合は、どこで、誰と、何をしているのか、家族に必ず伝えましょう。	
	4-⑥ 自身の安全を確保した上で、警察、保護者、学校の3か所に必ず連絡・報告しましょう。	
	4-⑦ 地域で行われている犯罪防止活動について調べ、安全な行動を考えてみましょう。	
	4-⑧ 出掛ける前は、旅行計画や内容及び緊急時の連絡方法を保護者に伝えて出掛けましょう。	
	4-⑧ 出掛ける前は、旅行計画や内容及び緊急時の連絡方法を保護者に伝えて出掛けましょう。	
スマートフォン等の使用時の安全	5-① 自分のスマートフォンの『設定』等からスクリーンタイムを確認してみましょう。	
	5-② スマートフォンにはたくさんの個人情報が含まれています。パスワードで設定して、しっかり管理しましょう。	
	5-③ 誤解を招く内容やタイミングになってはいないか、相手の立場になって考え、送信前にメッセージやスタンプを再確認しましょう。	
	5-④ 友人の情報や写真をインターネット上には絶対に掲載しないようにしましょう。	
	5-⑤ 許可を得て撮影した写真や動画でも、SNS等に掲載するときは、気を付けましょう。	
	5-⑥ 自転車利用時や歩行中、駅のホームを歩きながらのスマートフォン等の使用はやめましょう。	
生命(いのち)の安全教育	6-① 自分を大切にすることは、他の人を大切にするための第一歩です。	
	6-② 『距離感』は人それぞれ異なるものであり、自分自身で決めてよいものです。相手の『距離感』も尊重しなければなりません。	
	6-③ 身近な人からの性暴力が多いことを知っていますか。	
	6-④ 被害に遭ったあなたは、悪くありません。	

◆指導したら、Checkしましょう。

◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第17集(令和7年3月)」(P.76~P.91)に収録しています。

◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめです！

【Ⅱ 交通安全】

Check

道路の歩行と横断 及び交通機関の利用	1-①	スマートフォン等を操作したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながらの歩行には、どのような危険性が考えられますか。	
	1-②	交通量が多い場所や道幅が狭い場所では、車や自転車の動きに、十分に注意しましょう。	
	1-③	信号のあるなしにかかわらず、交差点では車、自転車に気を付けましょう。	
	1-④	青信号だから、相手が『止まるだろう』ではなく、『止まらないかもしれない』と考えて、無理に渡ることはやめましょう。	
	1-⑤	雨や雪の影響で交通機関に影響が出た場合に、安全面で気を付けることは何ですか。	
	1-⑥	自動車の運転者から、自分の存在を確認してもらえるようにしましょう。	
	1-⑦	集団で行動する際に、周りの人に配慮することは何でしょうか。	
	1-⑧	踏切内で動けない人がいたら、迷わず非常ボタンを押しましょう。	
	1-⑨	幼児や高齢者の方の横を追い抜くときは、どのような配慮が必要ですか。	
	1-⑩	電車やホームで、他の人の迷惑になる行為はやめましょう。	
自転車の安全な利用 と点検・整備	2-①	ハンドルに荷物をかけると、前輪にからまり、大事故につながります。その他にも気を付けることを考えましょう。	
	2-②	雨の日の自転車の運転は危険です。どのようなことに気を付ければ良いでしょうか。	
	2-③	スマートフォン等を操作したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながらの運転は、道路交通法違反や条例違反になります。他にはどのような違反がありますか。	
	2-④	自転車の点検と整備は自己責任です。整備不良の自転車は絶対に乗らないようにしましょう。	
	2-⑤	自分が加害者になることもあることをしっかり意識して、自転車損害賠償保険等に加入しているか確認しましょう。	
	2-⑥	ヘルメットで頭を守ることが、命を救う可能性を高めます。	
二輪車・自動車の 特性と心得	3-①	将来、自動車を運転する立場でも考えましょう。	
	3-②	ヘルメットやシートベルトで、自分の身を守りましょう。	
	3-③	交差点で左折してくる車両に巻き込まれないようにするためには、どのようなことに気を付けなければなりませんか。	
交通事故防止と安全 な生活	4-①	地域の小学生の模範となる自転車の乗り方をしているか、振り返ってみましょう。	
	4-②	交通事故が起こったときは、ケガの程度や痛みの有無を問わず、必ずその場で110番と119番に連絡しましょう。	
	4-③	授業で学んだ胸骨圧迫や人工呼吸、AEDが使えるように、手順を確認しておきましょう。	
	4-④	交通社会人として、地域社会の模範になりましょう。	

◆指導したら、Checkしましょう。

◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第17集（令和7年3月）」（P.76～P.91）に収録しています。

◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめです！

【Ⅲ 災害安全】

Check

火災時の安全	1-① 自分の学級からだけではなく、特別教室からの避難路も確認しておきましょう。	
	1-② 火災の原因として、どのようなものが考えられるでしょうか。	
	1-③ 火災を発見した場合は、周りに大声で伝え、初期消火を行うなど冷静に行動しましょう。	
	1-④ 消火器を使って、火を消すことができますか。	
地震災害時の安全	2-① 緊急地震速報を聞いたら、まず、物が『落ちてこない、倒れてこない、移動してこない』（おたい）場所で自分の身を守りましょう。	
	2-② 道路上で地震が起きたら、どのように自分の身を守りますか。	
	2-③ 『おかしも』の意味を説明できますか。	
	2-④ 被害の状況を確認しながら、より安全な避難経路を通りましょう。	
	2-⑤ 家具の転倒防止対策はされているか、電気・ガス・水道の供給の停止時にどのように対処するかを家族で確認しましょう。	
火山災害時の安全	3-① 登山等に行くときは、避難場所や避難方法を事前に調べてから、出発しましょう。	
	3-② 火山が噴火したら、噴火警戒レベルに応じた行動をとりましょう。	
気象災害時の安全	4-① 暴風雨の恐ろしさを、地域の防災教育施設（東京消防庁防災館等）で体験してみましょう。	
	4-② 急に空が暗くなったり雷鳴が聞こえたりしたら、何をしますか。	
	4-③ 竜巻を確認したら、頑丈な建物の中に避難します。	
	4-④ 積雪後は、路上が凍って危険です。慎重に行動しましょう。	
	4-⑤ 大雪が東京に降った場合、どのような影響が予想されるでしょう。	
	4-⑥ 気象情報の入手方法を知りましょう。	
原子力災害時の安全	5-① 風評被害はどのようにすれば防げるでしょうか。	
	5-② 被曝量と身体への影響との関係について調べてみましょう。	
避難所の役割と貢献	6-① 高校生として、避難所運営訓練に積極的に参加しましょう。	
	6-② 高校生は、助けられる側でもあり、助ける側でもあります。どのようなことができるでしょうか。	
	6-③ ボランティア活動で、自分が力になれることは何ですか。	
	6-④ 学校は避難所として、どんなことを期待されているでしょうか。	
災害の備えと安全な生活	7-① 避難訓練や防災訓練は、学校だけでなく、地域でも行われています。積極的に参加してみましょう。	
	7-② スマートフォン等が使えないとき、どのような連絡を取ればよいでしょうか。	
	7-③ 家庭の災害対策における自分の役割は何でしょうか。	
	7-④ 意識がない人への対処方法には、どのようなことがありますか。	
	7-⑤ 災害時の消防や警察、自治体の役割について調べましょう。	
	7-⑥ 学区や居住地域の防災の課題から、自分ができることを考えましょう。	
弾道ミサイル発射時の安全	8-① 『全国瞬時警報システム（Jアラート）』は国からの緊急情報を瞬時に伝えます。メッセージが流れたら、速やかな避難行動、正確で迅速な情報収集に努めます。	
	8-② 屋外にいる場合は、近くの建物の中や地下に避難します。屋内では、窓から離れて身を守る姿勢をとります。建物がない場合は、物陰に身を隠し、地面に伏せて頭を守ります。	

◆指導したら、Checkしましょう。

◆他の一声事例は「安全教育プログラム 第17集（令和7年3月）」（P.76～P.91）に収録しています。

◆学校や地域の実情に応じた「一声事例」を考えてみることも、おすすめです！